

事業所名

一般社団法人つばさ 親園事業所

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024年

9月

20日

法人（事業所）理念		①利用者一人ひとりが持っている生きる力と個性を尊重し、その利用者の成長にあった療育・支援をおこなうことを基本とします。 ②10年後・20年後に人として安定した輝きある人生が歩めるよう、様々な利用者同士の交流や出会いの体験を大切にします。 ③利用者が自信をもって日々成長していく姿が認められるような療育・支援を目指し、長期的な目標を掲げ、継続的な療育・支援に取り組みます。					
支援方針		●子どもたちは絶対成長するという信念 ●自信を持たせる自立を促すことを目指す ●アプローチ手法にこだわらない					
営業時間		8時	30分	18時	00分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣（身だしなみ、ロッカーの整理整頓、身体の清潔、シューズを履く、靴や遊んだものを片付ける等）の定着が図れるよう支援する。 正しい姿勢、整頓の仕方等絵カードを用いて支援する。					
	運動・感覚	遊びを通して視覚、聴覚、触覚等の諸感覚の発達を促し、十分に活用できるよう支援する。 個別にOTを実施して支援する。					
	認知・行動	個々の認知の特性を踏まえ、情報を適切に処理できるよう、ソーシャルスキルトレーニングを行ったり絵カード等を用いて補助したりして支援する。 一日の流れを明示したり、事前予告をしたりして切り替えがスムーズにできるよう支援する。					
	言語 コミュニケーション	遊びや活動を通して、友達との適切な相互のやりとりや関わり方を支援する。 個別にSTを実施して支援する。					
	人間関係 社会性	集団での活動や遊びに参加するための手順やルールを理解し、活動や遊びに参加できるよう支援する。 事業所でのルールを理解しやすいように絵カードを用いて支援する。					
家族支援		定期的な保護者面談を通して、発達状況の確認や特性の理解に向けた相談援助を行う。また、必要に応じて送迎の際に事業所での情報を伝えたり、保護者の話に耳を傾けたりして寄り添う。			移行支援	小・中学校や他事業所と連携して、支援内容の共有や支援方法の伝達を図れるようにする。	
地域支援・地域連携		利用児が通う医療機関や市の担当部署、他の相談事業所等との発達支援や生活支援に関して連携を図る。			職員の質の向上	各種研修会への積極的に参加、伝達や、一人一人の持っているスキルを伝達したりして、互いに質を高め合う。	
主な行事等		(4月)・新しいお友達の歓迎会・入学と進級のお祝い・お花見 (5月)・子どもの日・サツマイモの苗植え (7月)・七夕・プール開き (8月)・夏祭り・部門間交流 (10月)・サツマイモ掘り・秋まつり (12月)・クリスマス会 (1月)・お正月 (2月)・節分・消防訓練 (3月)・ひな祭り・送別会					